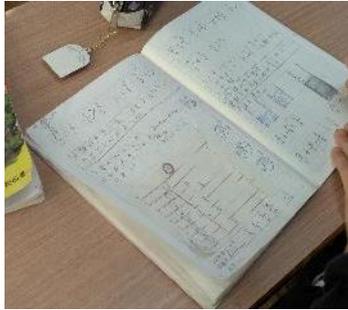




「そういうことか〜！」ハードルを越えること 校長 秦 一成



4年生の算数の授業についてある日の一コマです。

先生の説明を聞く。黒板の問題を一緒に考える。分数の大きさをくらべるために必要なことを、練習問題で試してみる。問題を解くことが出来た。次の問題をやってみる。自分なりの考えで答えを出してみる。「惜しい！」もう一度先生の説明を聞くと「ああ〜！そういうことかあ〜」と納得する。さらに次の問題はもう簡単♪笑顔で終わりのあいさつ。

「授業を受けること」は、教科書を見たり、板書を書き写したりすることと思いがちです。「一生懸命書いた」という達成感もあります。しかし、先生の声による説明を聞きながら考える。数字の変化を頭の中で想像する。先生の声には、子どもたちにわかって欲しいという気持ちや願いが込められています。教科書には書いていないアドバイスが含まれています。それを聴きながら考えてくれることは、担任にとっては、「気持ちを受け取ってくれている」ということ、「そういうことか〜」「ああ〜わかった！」なんて言葉が返ってくると、心が通じたようで涙が出るくらいうれしい気持ちになります。

冒頭の4年生の中には「もうわからない」とすねて泣き出した子もいました。「(難しくて) もうわからない」というハードルにぶつかったのですが、もう一度挑戦して問題に取り組み、わかることが出来ました！当然「笑顔」になりました。教師として、一番うれしい瞬間に立ち会うことが出来た幸せな一コマでした。

「挑戦」～前園さんの言うとおりに～

県P連の講演会で前園真聖（元日本代表サッカー選手）さんのお話を聴きました。司会の方が「前園さんに質問はありませんか？」と問いかけたら、曾於高校のサッカー部員が「フォワードとして大切なことは何ですか？」と質問しました。

前園さんは、「ゴールをはずしても気にしないこと、失敗してゴメンなんて、外国の選手は言わないよ。次のシュートを入れることが大切だって言うよ。だから、何度でもチャレンジして、成功に向かうことが大切だよ」と励ましていました。

また、前園さんを支えている言葉を教えてくださいという質問があり、高校時代のエピソードを交えながら、松澤監督からの言葉を話していました。

高校時代、相手の守りが強くてドリブルが止められたりしたとき、前園さんはパスに切り替えていたそうです。勝つために他の選手と協力することは当たり前だと思っていたのですが、よく交替させられたそうです。監督に「なんで交替なんですか？」と聞いたところ「ドリブルが止められもパスするんじゃなくて、突破できるまでなんどでも行け」と監督はおっしゃったそうです。つまり、「あきらめるな、挑戦し続けろ」という意味だったのです。

「挑戦し続ける」という言葉を胸に、苦難を乗り越えてきた前園さんの言うとおりに、これからも「挑戦する心」を持ち続けようと思いました。



## 書き初め大会

低学年は硬筆，3年生以上は習字（3年生：「友だち」，4年生：「美しい空」，5年生：「世界の国」，6年生：「夢の実現」）の書き初めを行いました。習字は慣れない条幅紙に書くので大変そうでしたが，手本を見ながらバランスを取って丁寧に書きました。書き終わったら，学年部ごとに見せ合いました。普段の文字や書写等でも丁寧に書くことやバランスを取って書くことを活かしていきましょう。



## 防災訓練

消防署の方に来ていただき，火災の避難訓練を行いました。避難の放送が流れると，子どもたちは「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない」を心掛け，素早く避難をすることができました。消防署の方からは，消化器の取り扱いについてや火災が起こったときの対応についても話をしていただきました。子どもだけで対応するのではなく，大人の助けを求めるためにも「火事だ!!」と大声を出せるようになることも大切です。



## なわとび大会

短縄の部では，まず各自が練習してきた技に挑戦しました。低学年は綾跳びや後ろ回し跳びなど，中・高学年は，二重跳びに挑戦する子どもが多かったです。そして，持久跳びでは，3分間跳び続けることに挑戦しました。長縄の部では，異学年で5グループに分かれ，8の字跳びをしました。声を掛け合いながら取り組む様子がとてもいいなと思いました。毎日の朝のトレーニングや体育の時間に頑張り，保護者の方々にも見てもらうことで，練習の時よりも記録が伸びたことでしょう。



## 家庭教育学級

臨床心理士の方に講師として来ていただき，発達段階による子どもへの声掛けの仕方について話をしていただきました。

5～8歳ぐらいでは「悲しかったんだね。」と感情を言葉にすること，9～10歳ぐらいでは「どうしてそう思ったの?」と，問いかけて考えさせること，11～12歳ぐらいでは「どうしたらうまくいく?」とよりよい行動を考えさせるような声掛けをするとよいということでした。発達も個人差がありますので，高学年でも気持ちの表現が苦手な子どもには感情を言葉にする声掛けから始めていくとよいですね。



## 6年生交流会

大崎町の6年生（約100人）が集まり，交流会を行いました。グループを変えながら，初めて会う友達とも好きなことについて話をしたり，体を動かしたりして楽しく過ごすことができました。

短い時間の交流でしたが，帰るときには，「忘れないでね。」と手を振り，名前を確認し合うなど，気の合う友達ができただけでした。4月にまた会えるのが楽しみです。



### < 2月の行事予定 >

- 11日(日) 建国記念の日 ●
- 15日(土) 町PTA教育講演会
- 19日(水) 児童総会
- 21日(金) PTA専門部長互選会
- 22日(土) 大崎町子ども会大会
- 23日(日) 子ども読書の日，アウトメディアデー  
天皇誕生日 ●
- 24日(月) 振替休日
- 28日(金) お別れ遠足，6年生を送る会

### < 3月の行事予定 >

- 7日(金) 授業参観，学級PTA  
学校保健委員会
- 8日(土) 土曜授業日
- 14日(金) 卒業式予行練習
- 18日(火) PTA引継会
- 20日(木) 春分の日 ●
- 23日(日) 子ども読書の日，アウトメディアデー
- 24日(月) 卒業式
- 25日(火) 修了式，大掃除，離任式

☆ 今後も学校行事・PTA行事等の変更があります。  
ご理解とご協力をお願いいたします。